



2月園だより

令和7年 2月 1日
目黒区立大岡山保育園園長

1月24日にホールで乳児お楽しみ会を開催しました。乳児クラスでも短いお話や音楽などを保育士が見せるという児童文化に親しむ行事です。0、1歳児クラスは集うという場面に慣れていない子どもたちが多く、初めは緊張の面持ちの子もいましたが、モップ犬(モップで作った操り人形)が初めに登場してくると犬のかわいらしい動きに子どもたちは次第に表情が和み、いろんな題目を楽しみ始めました。メインは「大きなかぶ」の人形劇で、さまざまな登場人物が次から次へと出てくる様子に子どもたちは釘付けで身を乗り出して見ていました。最後にかぶが抜けたシーンのところでは2歳児クラスを中心に両手を上にあげて「やったー!」と大きい声を出し合っている姿が印象的でした。今回、当日に食べるお楽しみ給食を行事の係の職員が栄養士と相談し、合奏が「犬のおまわりさん」だったので、パン屋さんにいつものぶどうパンを犬の形にしてもらったり、「大きなかぶ」の人形劇にちなみ、かぶのスープを作ろうと計画しました。劇の終わりに大きい鍋を持った栄養士にも登場してもらい、「このかぶをスープにするから楽しみにしていてね」と伝え、見て楽しんだことを食べることへの興味にもつなげた乳児お楽しみ会となりました。

2月のイベントに「豆まき」があります。鬼の存在は子どもたちにとって怖いものではありますが、勇気を振り絞って怖さに立ち向かうという行事でもあります。子どもたちの奮闘に期待をこめ、無病息災、厄除けをして1年健康に過ごせるようにしていきたいと思います。

今月の予定

節分 3、4、5歳児
4歳児クラス 懇談会
2歳児クラス 懇談会
1歳児クラス 懇談会
0歳児クラス 懇談会
中旬 身体計測 避難訓練

3月の予定

卒園式 5歳児
お別れ遠足 3、4、5歳児
クラス移動日
お別れ会
中旬 身体計測 避難訓練



用務員と子どもたち



保育園の用務員にとって、日常のちょっとした子どもたちとの関わりは元気の源です。朝、出勤の途中に自転車から「おはよう」と声を掛けてくれたり、廊下を掃除しているときにギュッと抱きついてきて「だいすき」と言ってくれたり、心が温まる瞬間がたくさんあります。ある日、園庭で洗濯物を干していると、消防士ごっこをしていた3歳児クラスの子どもたちが「火事はどこですか?」と聞いてきました。担任保育士が、火の元を探している子どもたちに「用務さんにも聞いてごらん」と声を掛けてくれたようです。「あっちみたいですよ」とジャングルジムの方を指さすと、縄跳びをホースに見立てて走って行き、火を消して戻ってきました。「消えました」と誇らしげに報告してくれたので「火を消してくれてありがとう」と声を掛けると、子どもたちもにっこりと笑顔を返してくれました。

これからも、子どもたちとの日々の触れ合いを楽しみにしながら、安心安全な保育園づくりに努めていきたいと思います。





子どもたちが夢中になっている遊び



0歳児クラス



生活や遊びの中で手先の操作が上達し、いろいろなことが出来るようになってきました。今までは保育士が重ねたカップや積み木を倒すことが楽しかったのですが、自分でも慎重に重ねて積む姿が見られるようになりました。集中しながら1つ1つ積み上げていくことが面白いようで、崩れてしまっても「もういっかい」と繰り返し遊んでいます。壊す楽しさとともに、「出来るかな」というハラハラする気持ちや、自分で出来たという喜びにも共感し、一緒にたくさん楽しんでいきたいと思います。また友達への関心も増してきた中で、一緒に遊ぶことの楽しさや喜びを共感し、やりとりを大切にしていきたいと思います。



3歳児クラス



さくらんぼ組では『氷鬼』が盛り上がっています。『タッチされると氷になって動けなくなる』、でも鬼以外の友達がタッチしたら『復活できる』というルールが面白くみんなで楽しんでいます。最初は、保育士が鬼になり、ルールを伝えながら遊んでいましたが、今では園庭や散歩先でも「氷鬼やろう」と友達に声をかけ、遊び始める姿もでてきました。また追いかけるほうが楽しく「おにはやらないよ」と言っていた子も保育士や友達と一緒にやると心強く思い、チャレンジしてみようとする子も出てきました。思いきり体を動かすことや、ルールがあるからこそハラハラする楽しさや、タッチするなどの達成感を味わう経験を積み重ねていきたいと思います。



5歳児クラス



新年お祝い会から始めたけん玉遊びを楽しんでいます。初めは、自分なりの方法で大皿に乗せようと頑張っていましたが、なかなか上手くいきませんでした。保育士が「膝を曲げてまっすぐ上にあげるとできるよ」とコツを伝えると、意識しながら根気強く続けています。保育士が見守っていると、とうとう一人の子が大皿にのせることができました。「できた」と喜ぶ友達を見て、周りにいた子どもたちも「すごーい」と一緒に喜んでくれたり、「どうやったの?」とコツを教えてもらったりしています。また、コツを聞かれた子は「膝まげて“まーめ”って言いながらやるとできるよ」などと自分がやってみてできた方法をアドバイスする姿もありました。これからもお互いに教え合いながら、いろいろな技に挑戦し、できなかったことができるようになる嬉しさや楽しさを味わっていきたいです。

